

ひろいはらっぱに あかいやねのおうちがあります。

そこには、ひつじさんがすんでいました。





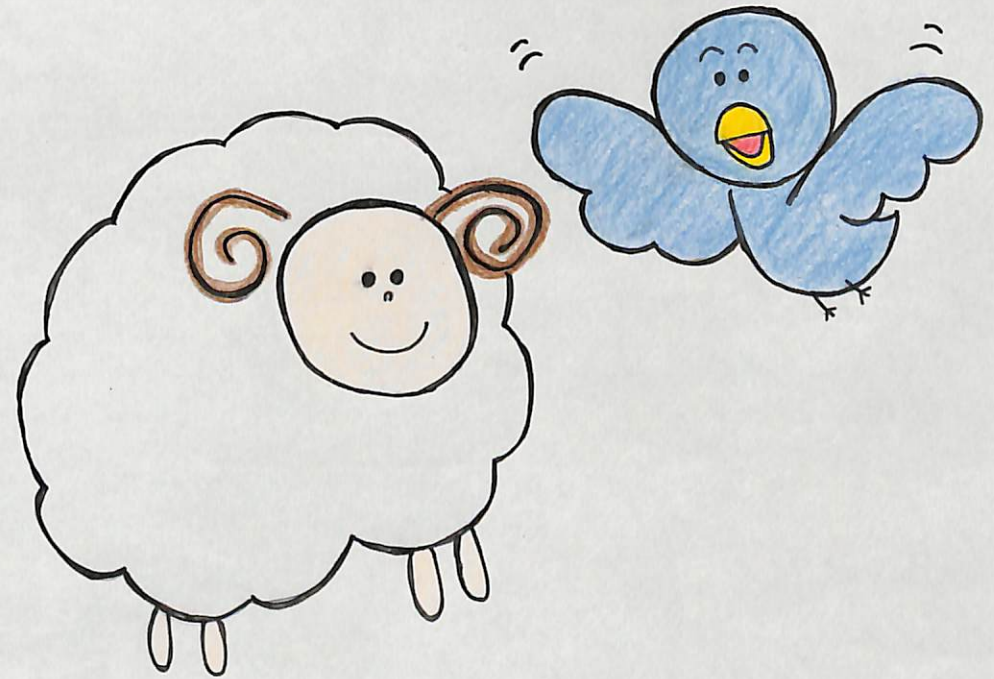


ある日、ひつじさんのところにことりがやってきて

「きょうは とてもときがいいから でかけておいで」

といいました。

ひつじさんは、さっそくおさんぽにでかけることにしました。

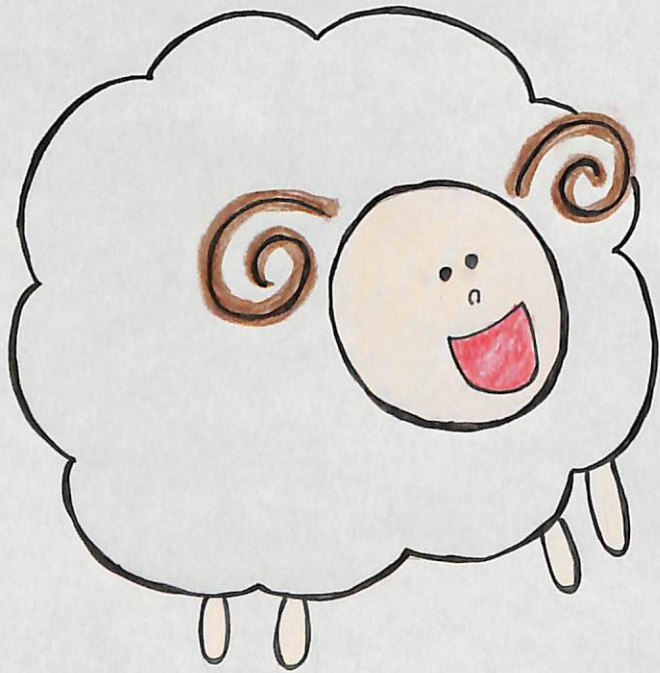




みつじさんが いるっていると、みつばちにてあいました。

「みつじさん こんにちは! ほくもおさんほに つれていって!」

とみつばちが いいました。





2人があついでいくと、

きれいなチューリップがばたけがありました。

そこではちょうちんがみつをあつめていました。

「おふたりさん、こんにちは！」

むこうのいけのほとりでおべんとうをたべましょう！」







さんじんが いけに たどりつくと、

そこでは、かえるがうたをうたっていました。

「みみさん、こんにちは！」

「ほくはとってもうたがじょうずなみんだよ！」

といって、おおきなこえでうたうので、

あめがふってきてしまいました。

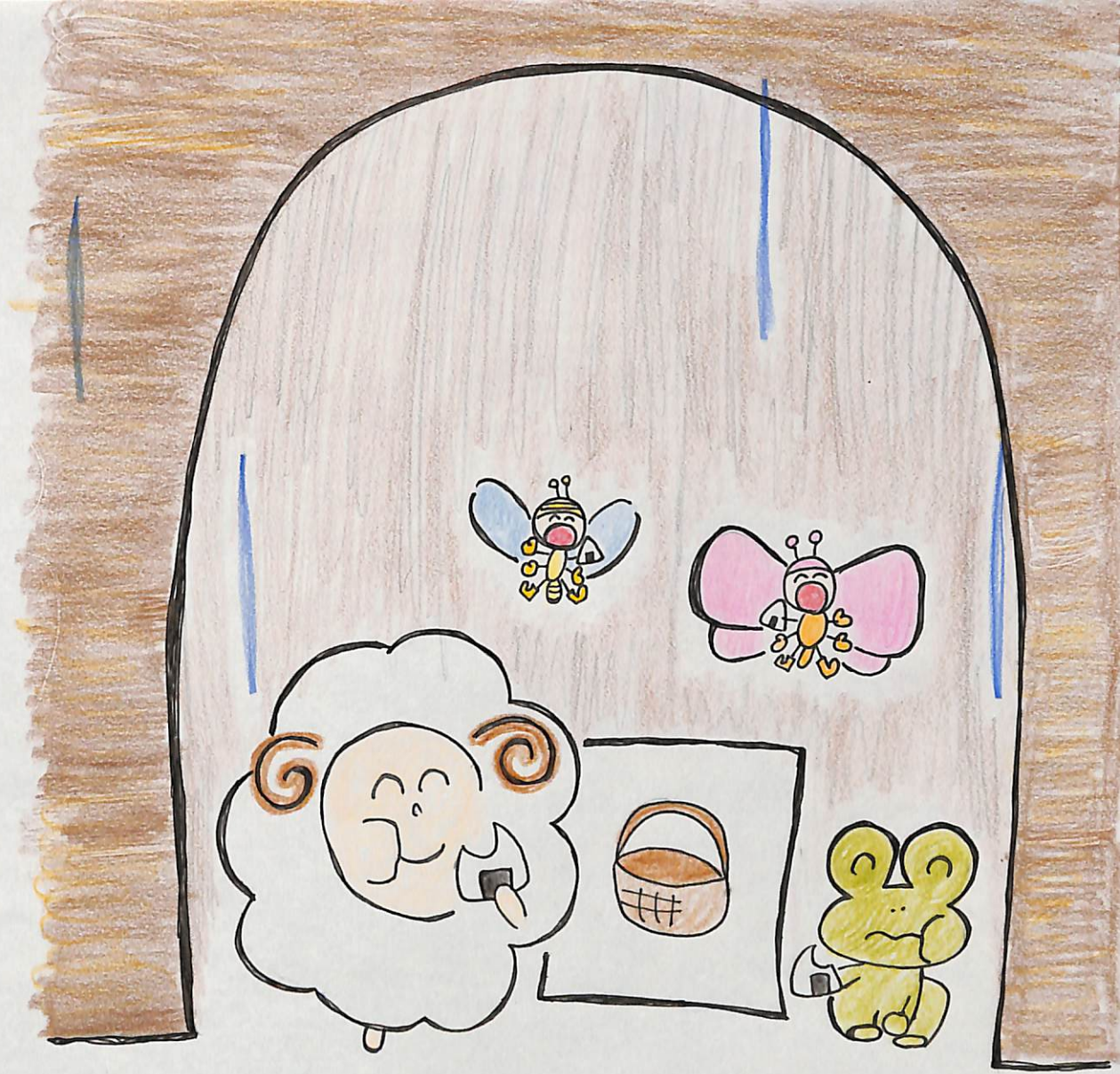




そこで、どうくつのみかでおべんとうをたべながら  
あまやどりをすることにしました。

みんながあまり楽しくしているものだから

きがついたときにはあめがすっかりあがって...







そらには おほしさまが ちかちかして。

ああ、たのしかった。おせりみひさい。